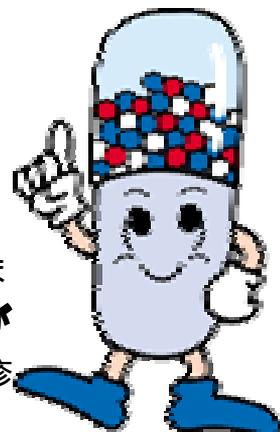


いきいきらんど 第45号 H16.9.1

石田クリニック <http://www3.ocn.ne.jp/~ishida-c/>

松阪市大町154-1 0598(53)1177

薬の副作用を防ぐには！



「副作用のない薬を下さい。」 「この薬は副作用はありませんか？」
とよく言われますが、副作用が全ての人に全くない薬というのはありま
せん。漢方薬も例外ではありません。病気や症状に対してよく働くのが

主作用、**好ましくない作用が副作用**で、風邪薬や蕁麻疹
の薬で眠くなったりするのは一般的には副作用ですが、
よく眠れて良かった人にとっては主作用とも言えるでしょう。お酒にも同
じような事がいえます。少量飲むことは動脈硬化を予防し、薬になります
が、飲みすぎると肝臓などに対し毒になり得ます。「**毒と薬は紙一重**」と
言えるでしょう。薬の副作用で気をつけたいのは「**薬疹**」。アレルギー反応で

現れるもので、全身の皮膚がやけどの様にただれ、高熱をきたす**ステーブ
ンス・ジョンソン症候群**といわれる重症型もありますので、**発疹や皮疹が出**

た場合は直ちに医師に相談して下さい。アレルギー反応の副作
用の中で、非常に短時間に血圧が下がったり呼吸困難がおこる
のが「**アナフィラキシーショック**」。薬を服用後まもなく蕁
麻疹と同時に咳が出たり、**ゼーゼー**と息苦しくなる、**冷汗や顔面
蒼白**の症状が出た場合は**一刻も早く受診が必要**です。救急車を



呼ぶことも考慮して下さい。薬の刺激による胃炎や抗生物質での下痢と
いった「**消化器症状**」も比較的多く認められる副作用です。**鎮痛剤による
胃潰瘍**の場合は鎮痛剤により潰瘍の痛みが抑えられ、かなり大きな潰瘍と
なるまで気づかない場合も多く注意が必要です。気をつけたいのは複数の
薬や食品との「**相互作用**」による副作用。ある種の高血圧の薬とグレープ
フルーツジュース。ワルファリンと納豆。**EDの薬と狭心症や前立腺肥大症**



の薬などもありますので、他人にあげるのは厳禁です。また
副作用の中には自覚症状がなく「**血液検査での異常**」が重篤
となる場合もありますので、調子が良くても定期的に検査を
受けることも重要です。**検査は病気が良くなっているのを見るだけでなく
副作用のチェックも行っているのです。**